

東林山 法雲寺

楽寿観音  
永代供養塔への納骨  
ご案内



墓地・納骨場所をご心配の方  
観音様のお膝元で  
三十三回忌まで  
大切にお預かり致します。

藩公 山名氏菩提寺  
東林山 法雲寺

URL  
<http://www2.nkansai.ne.jp/org/hounji>

最善の方法では無いかも知れ  
ませんが・・・永代供養塔納骨

お墓を作りたいけど・・・お墓は有るけど・・・  
後の面倒を見てくれる人が居ない、世話を掛けたくない・・・そんな方々の一つの選択肢としてお考え下さい。

- 三十三回忌まで楽寿観音のお膝元に安心安置
- 月一度の合同法要にてご供養。
- 境内の供養塔のため、親族の参拝は自由
- 三十三回忌以降は墓地内の合祀塔に改葬（ご希望により散骨にも対応させていただきます）
- 年忌法事をご親族がご希望の場合は、法雲寺でも執行させていただきます。
- 宗派・宗教不問（ただし、天台法儀による仏式儀礼を受用して頂ける方）
- 永代供養料：檀家30万・一般50万  
事前のお申し込みお受けいたします・・・  
Email [hounji@io.ocn.ne.jp](mailto:hounji@io.ocn.ne.jp)



近畿楽寿観音  
三十三ヶ所霊場  
第六番札所



URL  
<http://www2.nkansai.ne.jp/org/hounji>

東林山 法雲寺

〒667-1311  
兵庫県美方郡村岡町村岡2365

TEL：0796-98-1151  
0796-98-1161  
FAX：0796-98-1168  
Email：[hounji@io.ocn.ne.jp](mailto:hounji@io.ocn.ne.jp)  
携帯：090-8219-2071



- 上：納骨スペースの内部。
- 左：楽寿観音様の台座部分に納骨のスペースを設けています。

## 今は「お墓」の曲がり角…？



人は亡くなると葬儀を行い荼毘にふされ、残った遺骨は墓地に埋葬される…

この当たり前と思っていた送葬や埋葬の習慣が

近年崩れつつあります。

一つには墓地・墓石の高価格化、人々の祖先祭祀に関する意識の変化、また、少子化に伴う「家の跡継ぎ」の欠如…折角、がんばって建立したお墓も、その後を継ぐ人が居ないのでは、お墓も荒れ果て、無縁墓の仲間入りを待つだけです。

日本のお墓は「家」と言うものが永続的に存在する事を前提として作られ祀られてきました。

家の跡継ぎはその家督を引き継ぎ、先祖代々からの有形無形の財産を授かり、さらに次代へと繋げていく。そんな先祖から子々孫々に継承される事を前提とした文化や財産の中の一つに、お墓と言うものもあります。

お墓は近い肉親の遺骨を納め、お祀りして亡き人を偲ぶ場所でもあり、また、家督を相続したものが、有形無形の財産を築いてくれた祖先と一族を代表して対話する場でもあったわけです。



## お墓の今後は…



先祖が苦心して作ったお墓も世話をする人が居ないと…

言うまでも無く第二次世界大戦後の日本は戦前の日本との訣別、封建的な制度や家制度の極端なまでの排除など…を今日まで続けて来ました。

確かに、長男のみが「家督」を独占的に引き継ぐことや、「本家」・「分家」と家柄ばかりに拘ることは、民主主義とは異なるかもしれません。

しかし、先ほど説明したように日本の墓は「家」という血族的な制度が永遠に存在することを前提に、現在のような立派なお墓を代々継承していく流れを取ってきました。

今の日本は「家」どころか「家族の繋がり」さえ危ぶまれる状況ですので、旧来の「家中心」の考え方に基いたお墓の在り方は、その拠って立つ根拠を失いつつあります。

そんな状況の中、誰もが子々孫々に伝える立派なお墓を建立する事は果たして理にかなったことなのでしょうか？

次代を託す事が出来る後代がある方は良いのですが、後代がある方ばかりではございません。

折角、苦労して、お墓を準備しても託すべき後代がなければ、無縁墓になるのをひたすら待つだけの事ように思えます。

今後は「家の永続性」を前提としないお墓の在り方を考えていく必要が在るように思えます。

## 最善の策ではないけれど

日本人である以上は「見晴らしの良い小高い丘の上の小さな墓地…」と言ったお墓のイメージがしっくり来るとは思いますが、個々独立したお墓は管理や世話をしてくれる後代が居て初めて叶うことです。

かといって後代のない方にも死は訪れます。

最善の方法では有りませんが…

- 現在お墓が無い。
- お墓を作っても後を見る方が居ない。
- お墓が有っても、後を見るものが居ない。…

そんな方々のために、一つの選択肢としてこの「永代供養塔」への納骨をご提案いたします。

- 「永代供養塔」への納骨では
- 三十三回忌まで楽寿観音のお膝元に安心安置
  - 月一度の合同法要にてご供養
  - 境内の供養塔のため、親族の参拝は自由
  - 三十三回忌以降は墓地内の合祀塔に改葬
  - 年忌法事をご親族がご希望の場合は、法雲寺でも執行させていただきます。

没後の行く末をご案じの方、一方策としてご参考にしてください。



楽寿観音台座部にある納骨スペース。ここに納骨頂き三十三回忌までご供養させていただきます。